

2026 年 7 月 22 日

TOPPAN 株式会社

一般社団法人アップサイクル

ネスレ日本株式会社

サラヤ株式会社

大本紙料株式会社

神戸市

神戸市内で回収した「ネスカフェ」や「ヤシノミ洗剤」をはじめとする
紙パッケージがハンカチとして新たな命に生まれ変わる
“紙パッケージの再資源化のしくみ構築プロジェクト”、7月22日(水)より開始

TOPPAN株式会社(本店:東京都文京区、代表取締役社長 野口 晴彦)は、一般社団法人アップサイクル(所在地:大阪府大阪市、代表 森原 洋)、ネスレ日本株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長 兼 CEO:島川 基)、サラヤ株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長 更家 悠介)、大本紙料株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役 大本 知昭)、神戸市(市長 久元 喜造)と6者共同で協定書を締結し、燃えるごみを削減および資源循環型社会の実現に取り組む「紙パッケージの再資源化のしくみ構築プロジェクト」を2026年7月22日(水)より開始します。



神戸市内の資源回収ステーションである「エコノバ」で設置される回収ボックスと、アップサイクルされたハンカチのイメージ

■ 使用後の紙パッケージを回収し、新たな命を吹き込む企画

一般社団法人アップサイクルは“現代および将来の世代のために持続可能な社会の実現”をミッションに掲げ、ネスレ日本株式会社、神戸市、TOPPAN 株式会社をはじめとする参画企業・団体により 2023 年 2 月に設立されました。現在では、サラヤ株式会社や大本紙料株式会社を含む 50 以上の企業や団体が参画し、資源や食品残渣のリサイクル率向上を推進することで、新たな価値の創出を目指しています。

推進するプロジェクトの一つ「TSUMUGI」は、複合素材のため再資源化が難しい紙パッケージや大きさ・形状から活用が難しい間伐材において、使用後の紙資源と未利用の間伐材を紙系に生まれ変わらせる取り組みです。2023 年 2 月の一般社団法人アップサイクルの設立以来、プロジェクト「TSUMUGI」の紙系を使用して作られた物品は、主に店舗や EC サイトによる一般消費者への販売に加えて、参画企業・団体内のユニフォームやノベルティとしても活用されてきました。

この度、従来は複合素材であることから非資源紙として廃棄されてきた紙パッケージ等を回収・アップサイクルする「紙パッケージの再資源化のしくみ構築プロジェクト」を開始します。神戸市内の資源回収ステーションである「エコノバ」4か所に回収ボックスを設置して紙パッケージを回収し、ハンカチ等として新たに生まれ変わらせることで、回収に協力いただいた方への寄贈を予定しています。

一般社団法人アップサイクル、神戸市ならびに協定各社は、本プロジェクトを通じてこれまで焼却されていた資源の有効活用とごみ削減につなげ、ごみの減量・資源化に関する市民の意識向上や行動変容を目指します。

■ 協定内容

期間：2026年7月22日(水)から2027年3月31日(水)

各社の役割：

名称	取り組み内容(今後の予定を含む)
TOPPAN 株式会社	・本連携事項の全体管理、神戸市民への広報・啓発活動の企画実行 ・回収ボックスをはじめとするツールの製作
一般社団法人アップサイクル	・社会課題と企業課題解決に向けた仕組みの設計およびその解決策として、回収された紙パッケージを資源として活用したアップサイクル製品の製作、神戸市民への広報・啓発活動の企画実行
ネスレ日本株式会社	・神戸市内における自社紙パッケージの回収・資源化・アップサイクルの仕組みづくり ・神戸市、一般社団法人アップサイクル及びサラヤ株式会社と共に神戸市民への広報・啓発活動の企画実行
サラヤ株式会社	・神戸市内における自社紙パッケージの回収・資源化・アップサイクルの仕組みづくり ・神戸市、一般社団法人アップサイクル及びネスレ日本株式会社と共に神戸市民への広報・啓発活動の企画実行
大本紙料株式会社	・紙製品回収およびその有効活用に関する知見を活かした紙パッケージの回収
神戸市	・回収場所の提供、回収ボックスの管理・運用、市民への広報・啓発

回収ボックス設置場所：

- ・エコノバあづま(コムスタこうべ：神戸市中央区吾妻通 4-1-6)
- ・エコノバふたば(ふたば学舎 2F：神戸市長田区二葉町 7-1-18)
- ・エコノバほくしん(リサイクル工房ほくしん：神戸市北区藤原台北町 1-23)
- ・エコノバいぶきにし(井吹西地域交流センター：神戸市西区井吹台西町 4-4)

回収対象：神戸市民が排出する可燃ごみとして扱われている紙パッケージ

※「ネスカフェ エコ&システムパック」各種、「ヤシノミ洗剤」詰替用、「アラウ・ベビー泡全身ソープ」・「HE 液体洗たく用洗剤」パッケージを含みます。

＊ 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

■各社コメント

・TOPPAN 株式会社

TOPPAN 株式会社は、持続可能な社会の実現に向け、パッケージを起点としたサステナブルブランド「SMARTS™(スマーツ)」を展開しています。容器包装における回収・リサイクルの拡大を目指し、業界の垣根を越えた多様なパートナーとの共創を通じて、消費者とともに循環型社会の形成に貢献していきます。

・一般社団法人アップサイクル

近年、日本において短期的な利益の追求だけではなく、持続可能な社会づくりについての関心が高まっています。一方で、利用可能な資源が再利用されることなくそのまま廃棄されている現状や、資源として回収・活用する方法が十分に整備されていない等、取り組んでいくべき課題は多く存在しています。アップサイクルは、循環型社会づくりのハブとなり、参画企業・団体それぞれのもつ資源や優れた技術やものづくりの力、サービスなどを結集し、新たな価値を生み出すことを目指してまいります。

・ネスレ日本株式会社

ネスレは、「食と飲料の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高める」ことを存在意義(パーパス)として掲げ、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めています。ネスレ日本では、パッケージ改善や廃棄物削減を通じて資源循環を推進しており、本プロジェクトでは紙パッケージを起点に行政や他企業と連携し、神戸市における紙ごみ課題の解決に向けて、生活者とともに取り組んでまいります。

・サラヤ株式会社

サラヤ株式会社は、「衛生・環境・健康」の向上を企業理念に掲げ、人と地球にやさしい商品づくりに取り組んでいます。1982年に日本初の台所用洗剤詰替えパックを発売し、近年はプラスチック削減の一環として紙製詰替パックの自社製造を推進しています。本プロジェクトでは行政や他企業と連携し、紙製詰替パックの回収・再資源化を通じた資源循環の実現に向けて、生活者とともに取り組んでまいります。

・大本紙料株式会社

大本紙料株式会社は、「捨てる」から「生かす」発想を原点に、資源の回収・再資源化を通じて循環型社会の実現に取り組んでいます。本プロジェクトでは、紙パッケージの回収を担う企業として、行政や参画企業の皆さまと連携しながら、新たな資源循環の仕組みづくりに貢献してまいります。

・神戸市

エコノバは、質の高いリサイクルを目指してプラスチック資源等を回収し、「まわり続けるリサイクル」を実践する拠点であるとともに、「ごみ出し」をきっかけに地域交流が生まれるコミュニティ拠点でもあります。本プロジェクトでは、再資源化が難しいとされている防水加工を施された紙パッケージを市民の協力のもと回収し、参画企業・団体との連携により資源循環に取り組んでまいります。

この取り組みを通じて、ごみの減量・資源化に関する市民意識の醸成と循環型社会の形成に寄与できればと考えております。

以 上

参考資料

■ プロジェクト「TSUMUGI」について

プロジェクト「TSUMUGI」は、使用後の紙資源や未利用の間伐材を紙糸に生まれ変わらせる取り組みです。紙糸は、天然繊維ならではの柔らかさと、軽量性、吸放湿性が特徴で、まるで自然の中にいるようなやさしい肌触りを感じることができます。しっかりとした縫製で、みなさまに長く愛用してもらえよう Made in Japan ならではの技術が詰まっています。「TSUMUGI」という名前には、わたしたちと地球や社会・地域コミュニティを紡ぐ象徴として手に取っていただきたいという思いが込められています。



紙資源や間伐材



再生紙化



紙糸化



<報道に関するお問い合わせ先>

・TOPPAN 株式会社 広報部

TEL: 03-3835-5636 / MAIL: kouhou@toppan.co.jp